
アーリーリタイアしたと思えばいい。

雨夏雪夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アーリーリタイアしたと思えばいい。

【コード】

N3399Y

【作者名】

雨夏雪夜

【あらすじ】

アラサー女子が異世界トリップしちゃってのほほん？と生活する話。

世界を救うとかそういうのはいないです。

イケメン王子とかと胸キュンな展開もないです。

見切り発車です。

1 (前書き)

よく読む話です。(ねー)

子供のはしゃぐ声が聴こえる。

……こちとら総務のお姉さまに代休消化しろと言われて
土日ぶっ潰してまで取った代休なんですよ。

週の真ん中水曜日ですよ。丸1日眠りたいのよ。

なのに子供の声はだんだんでかくなる。

あー……もーっ……

「朝っぱらからうるさいんじゃない！クソガキどもが！」

目も開けずに叫んだ。

一瞬の静寂の間を置いて、

子供たちの叫び声と何かが割れる音がして、

再び静寂が訪れた。

そして、私は翌日から始まる仕事へ向けて眠りについた。

この時、子供の声に目を開けていれば
まだマシだったんじゃないのかと思っても
後の祭りである。

だって自宅の周りには公園もなければ幼稚園も小学校もない。ていうか、鉄筋マンションの5階でそこそこ防音されてるし。

子供の声なんて聴こえるわけないんだよ。

直属の上司飛び越えて、直接総務から指導されるほど働き過ぎてた私は
よっぽど疲れていたらしい。

異変を感じるよりも先に睡眠をとっていた。

後悔先に立たず。

よくいったものである。

「んー？」

顔にかかった自分の腕のゴワつき加減で
昨日はそう言えば、コートも脱がずにベットに倒れこんでたことを
思い出した。

メイクは落としたよ。落としたはずよ。命取りじゃないの。

ゴリッ

寝返りを打とうとして違和感に気づく。

ゴリ？

ん？なんか固い？

こないだ大枚叩いて、低反発の寝具一式に買い換えたのに？
ていうか冷たい？

え？何？！

勢い良く体を起こせば、
住み慣れた1Kの部屋ではない
どっかの遺跡みたいな石造りの狭い部屋だった。

何も無い、石造りの部屋だった。

外へ通じるであろう細い階段の先には
満月が2つとたくさんの星がある夜空が見えた。

え。

私、乱視じゃないよ。

目をこすり、しかめても、

月が2つある夜空だった。

1 (後書き)

このお姉さんは言葉遣いが下品ですね。

著者が下品なわけじゃないと思いますよ。

多分。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3399y/>

アーリーリタイアしたと思えばいい。

2011年11月8日04時13分発行